

青森県景気ウォッチャー調査 (令和5年7月期)

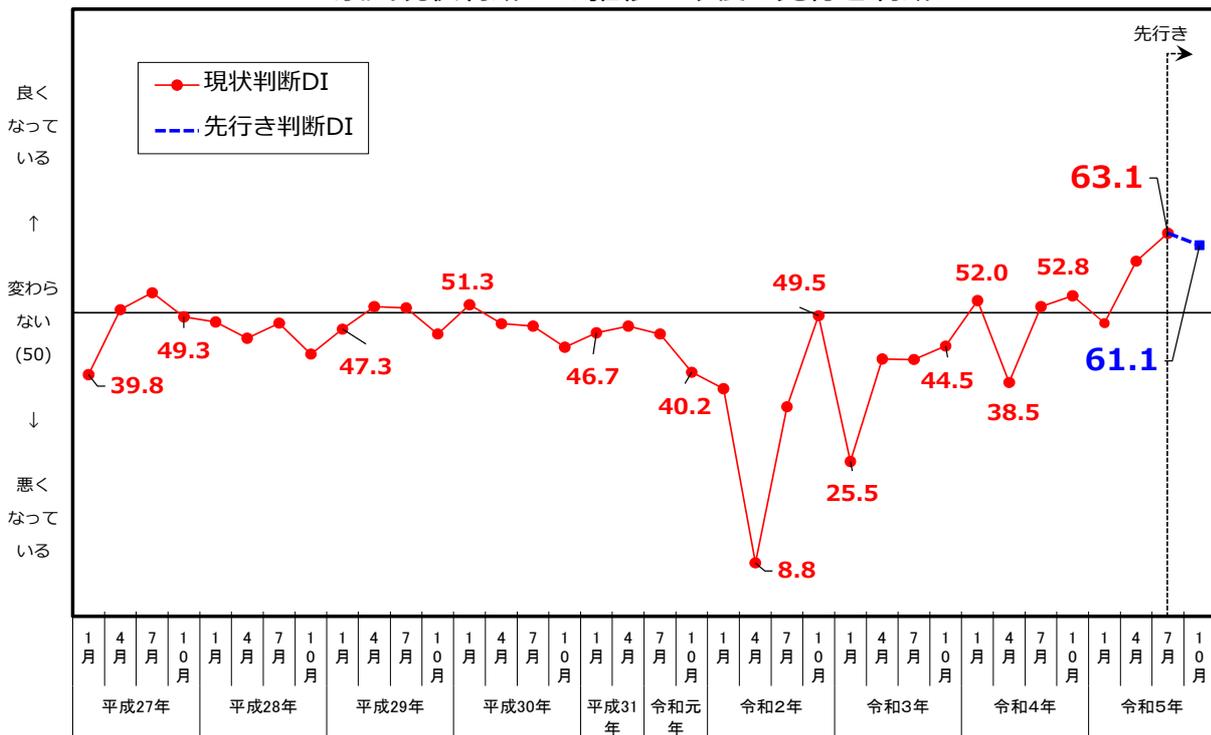
調査期間 令和5年6月30日～7月23日 回答率 97%

概況

7月期の景気の現状判断DIは63.1となり、前期から4.6ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。

先行き判断DIは、現状判断DIと比べて2.0ポイント低下の61.1となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



令和5年8月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断D I

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント上昇、「やや良くなっている」が4.1ポイント上昇、「変わらない」が1.0ポイント上昇、「やや悪くなっている」が4.1ポイント低下、「悪くなっている」が3.1ポイント低下となった。

全体では63.1となり、前期から4.6ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を2期連続で上回った。

判断理由では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行されたことに伴い、観光客数の増加や各種宴会の増加など、人の動きが活発化しているといった声があった。

一方で、依然として続いている物価高騰による消費者の消費意欲の低下を懸念する声も多くみられた。

② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で5.3ポイント上昇、企業関連で7.4ポイント上昇、雇用関連で10.7ポイント低下となった。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全ての地区で上昇し、全ての地区で景気の横ばいを示す50を上回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断D I

① 県全体の動向

今期調査の現状判断D Iと比べると、「良くなる」が同水準、「やや良くなる」が4.1ポイント低下、「変わらない」が同水準、「やや悪くなる」が4.1ポイント上昇、「悪くなる」が同水準となった。

全体では61.1となり、今期調査の現状判断D Iと比べて2.0ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、夏祭りの通常開催や夏休み期間の帰省などにより、人流の増加を期待する声があった。

一方で、光熱費等の価格高騰、物価上昇の影響による消費低迷やコロナ融資の返済が懸念されるといった声があった。

② 分野別の動向

今期調査の現状判断D Iと比べて、家計関連全体で1.7ポイント低下、企業関連で5.9ポイント低下、雇用関連で3.5ポイント上昇となった。

③ 地区別の動向

今期調査の現状判断D Iと比べて、東青、県南、下北の3地区で低下したものの、全ての地区で景気の横ばいを示す50を上回った。

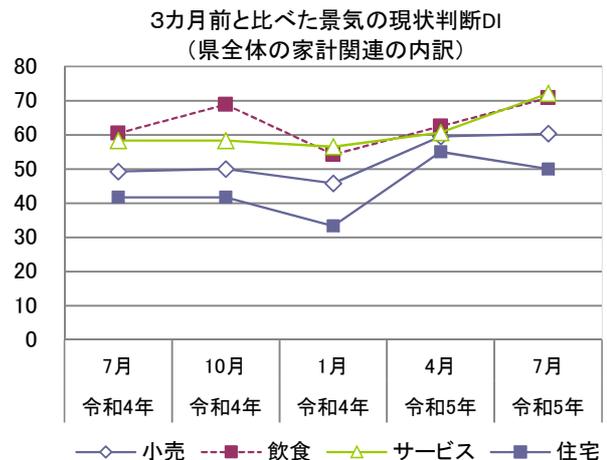
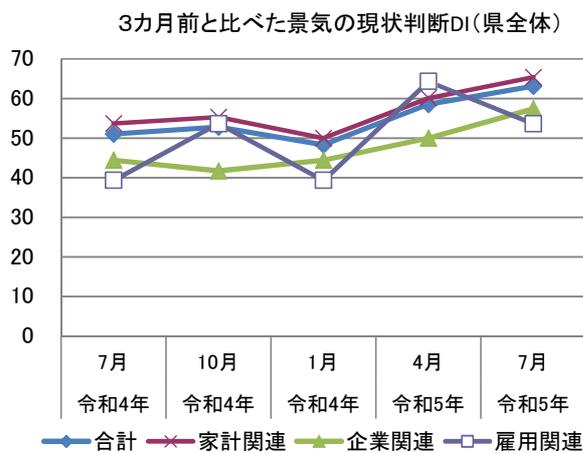
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

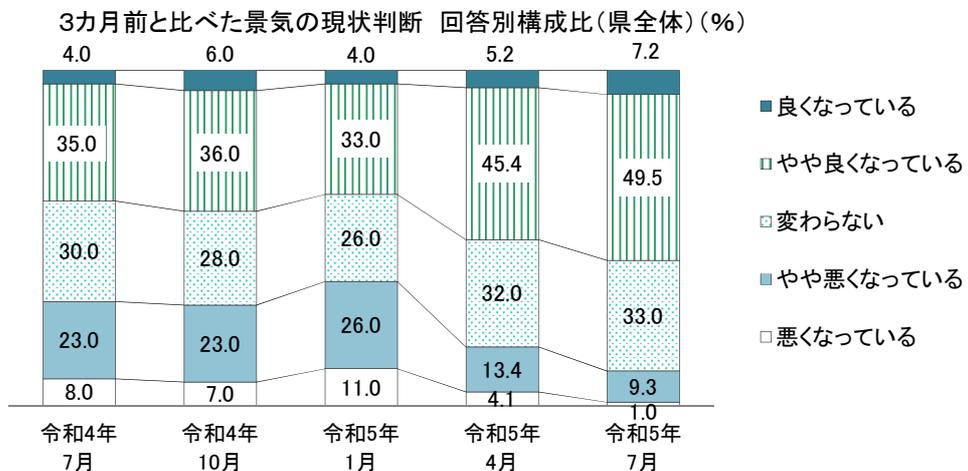
n = 97

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和4年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合計	51.0	52.8	48.3	58.5	63.1	4.6
家計関連	53.7	55.3	50.0	60.1	65.4	5.3
小売	49.2	50.0	45.8	59.5	60.3	0.8
飲食	60.4	68.8	54.2	62.5	70.8	8.3
サービス	58.3	58.3	56.5	60.6	72.1	11.5
住宅	41.7	41.7	33.3	55.0	50.0	▲ 5.0
企業関連	44.4	41.7	44.4	50.0	57.4	7.4
雇用関連	39.3	53.6	39.3	64.3	53.6	▲ 10.7



②回答別構成比 (%)

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
良くなっている	4.0	6.0	4.0	5.2	7.2	2.0
やや良くなっている	35.0	36.0	33.0	45.4	49.5	4.1
変わらない	30.0	28.0	26.0	32.0	33.0	1.0
やや悪くなっている	23.0	23.0	26.0	13.4	9.3	▲ 4.1
悪くなっている	8.0	7.0	11.0	4.1	1.0	▲ 3.1



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 97

	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	令和5年 10月	前期調査 との差
合 計	47.0	49.0	50.0	62.4	61.1	▲ 1.3
家計関連	49.7	50.7	52.7	64.6	63.7	▲ 0.9
小売	48.3	45.8	53.3	62.1	60.3	▲ 1.8
飲食	56.3	70.5	52.1	72.9	70.8	▲ 2.1
サービス	52.8	50.9	54.6	64.4	68.3	▲ 3.9
住宅	29.2	37.5	41.7	60.0	45.8	▲ 14.2
企業関連	37.5	40.3	37.5	52.8	51.5	▲ 1.3
雇用関連	42.9	53.6	53.6	64.3	57.1	▲ 7.2

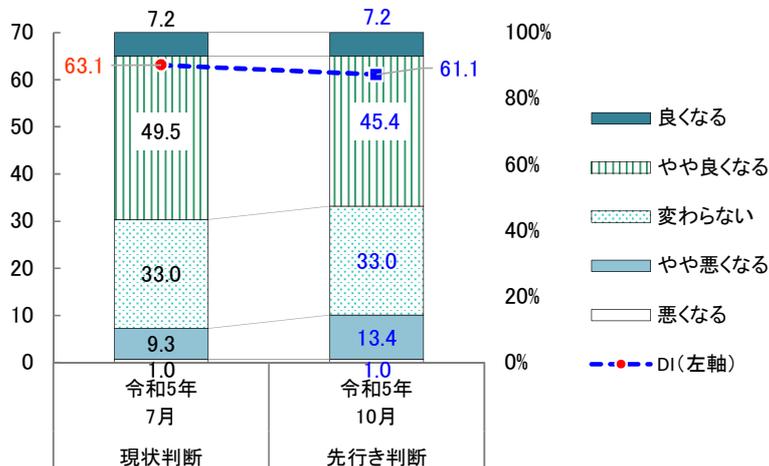
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
合 計	63.1	61.1	▲ 2.0
家計関連	65.4	63.7	▲ 1.7
小売	60.3	60.3	0.0
飲食	70.8	70.8	0.0
サービス	72.1	68.3	▲ 3.8
住宅	50.0	45.8	▲ 4.2
企業関連	57.4	51.5	▲ 5.9
雇用関連	53.6	57.1	▲ 3.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
良くなる	7.2	7.2	0.0
やや良くなる	49.5	45.4	▲ 4.1
変わらない	33.0	33.0	0.0
やや悪くなる	9.3	13.4	▲ 4.1
悪くなる	1.0	1.0	0.0

現状判断と先行き判断との比較(県全体・合計)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

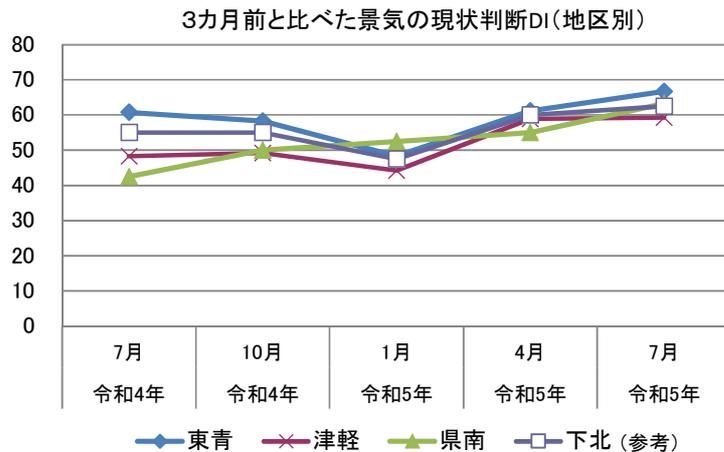
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

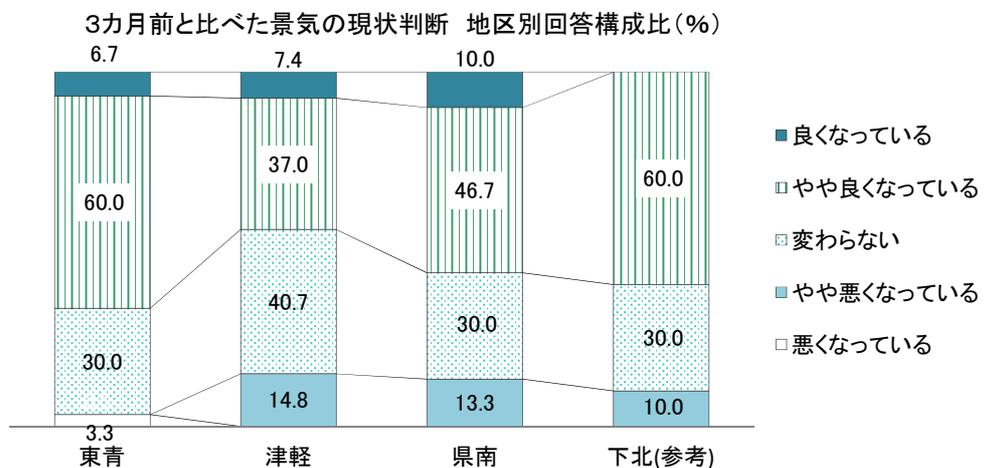
n = 97

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合 計	51.0	52.8	48.3	58.5	63.1	4.6
東青	60.8	58.3	48.3	61.2	66.7	5.5
津軽	48.3	49.2	44.2	58.9	59.3	0.4
県南	42.5	50.0	52.5	55.0	63.3	8.3
下北	55.0	55.0	47.5	60.0	62.5	2.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなっている	6.7	7.4	10.0	0.0
やや良くなっている	60.0	37.0	46.7	60.0
変わらない	30.0	40.7	30.0	30.0
やや悪くなっている	0.0	14.8	13.3	10.0
悪くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0



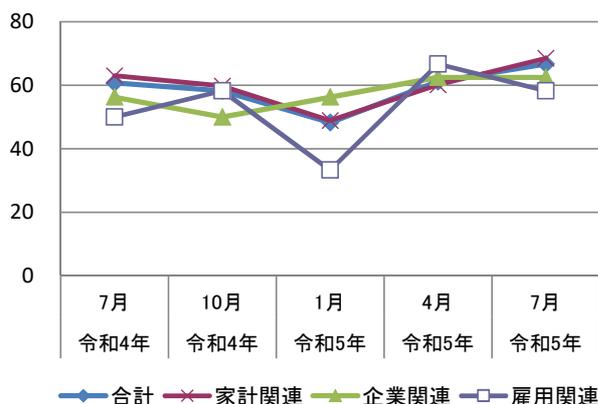
<東青地区>

①DI

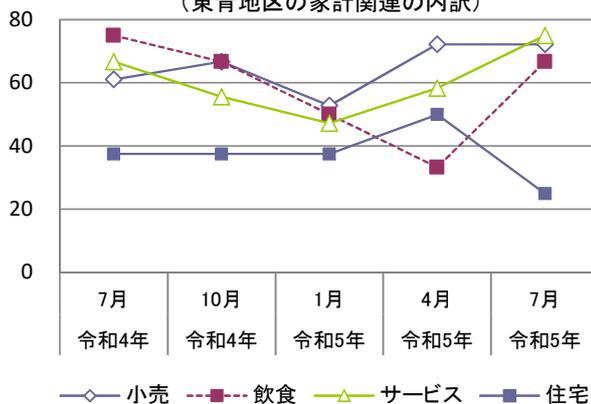
n = 30

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合計	60.8	58.3	48.3	61.2	66.7	5.5
家計関連	63.0	59.8	48.9	60.2	68.5	8.3
小売	61.1	66.7	52.8	72.2	72.2	0.0
飲食	75.0	66.7	50.0	33.3	66.7	33.4
サービス	66.7	55.6	47.2	58.3	75.0	16.7
住宅	37.5	37.5	37.5	50.0	25.0	▲ 25.0
企業関連	56.3	50.0	56.3	62.5	62.5	0.0
雇用関連	50.0	58.3	33.3	66.7	58.3	▲ 8.4

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



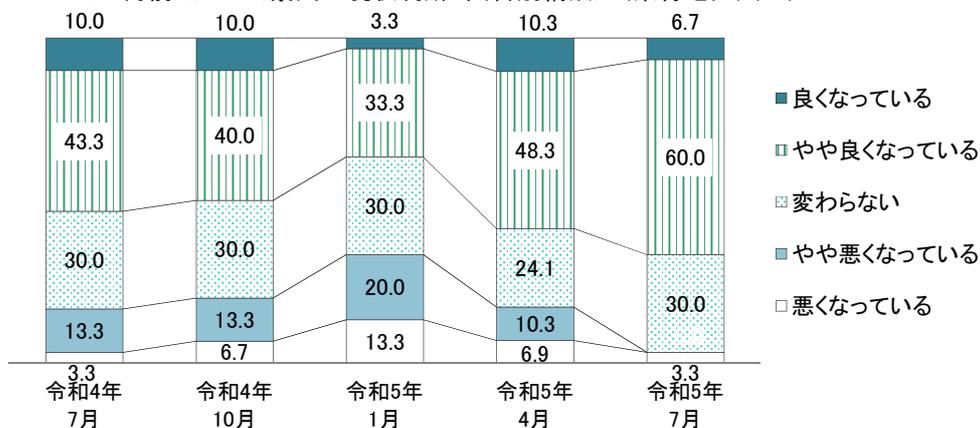
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
良くなっている	10.0	10.0	3.3	10.3	6.7	▲ 3.6
やや良くなっている	43.3	40.0	33.3	48.3	60.0	11.7
変わらない	30.0	30.0	30.0	24.1	30.0	5.9
やや悪くなっている	13.3	13.3	20.0	10.3	0.0	▲ 10.3
悪くなっている	3.3	6.7	13.3	6.9	3.3	▲ 3.6

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



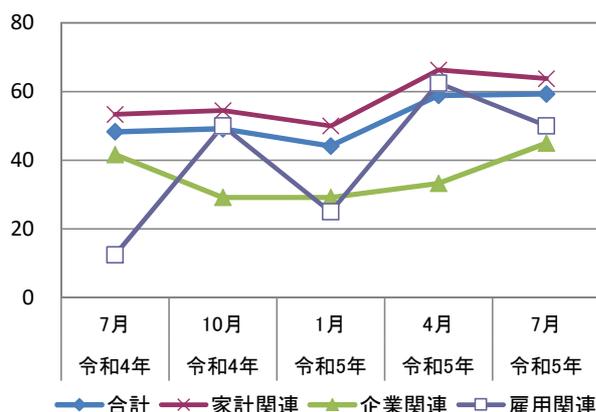
<津軽地区>

①DI

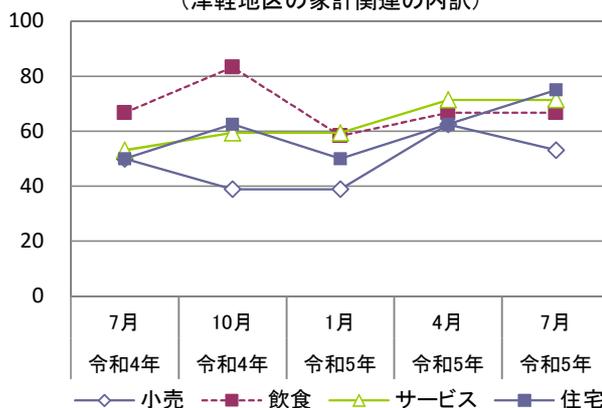
n=27

		令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合 計	家計関連	48.3	49.2	44.2	58.9	59.3	0.4
	小売	53.4	54.5	50.0	66.3	63.8	▲ 2.5
	飲食	50.0	38.9	38.9	62.5	53.1	▲ 9.4
	サービス	66.7	83.3	58.3	66.7	66.7	0.0
	住宅	53.1	59.4	59.4	71.4	71.4	0.0
	企業関連	50.0	62.5	50.0	62.5	75.0	12.5
	雇用関連	41.7	29.2	29.2	33.3	45.0	11.7
雇用関連	12.5	50.0	25.0	62.5	50.0	▲ 12.5	

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



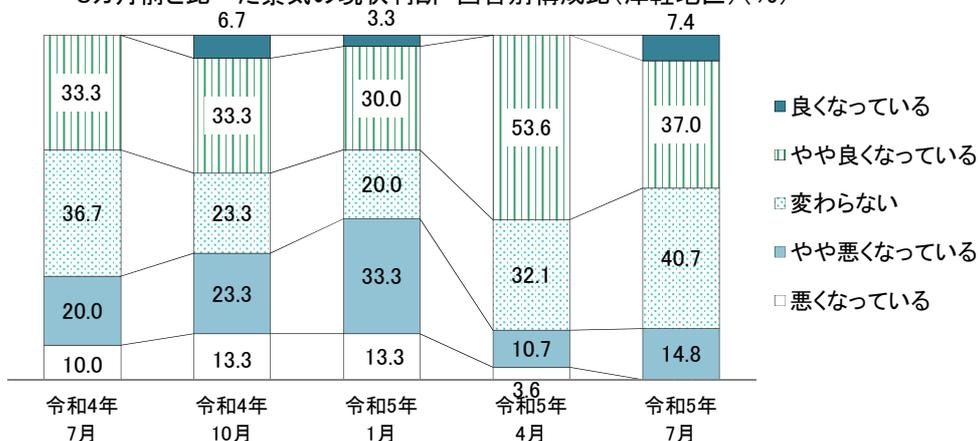
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	6.7	3.3	0.0	7.4	7.4
やや良くなっている	33.3	33.3	30.0	53.6	37.0	▲ 16.6
変わらない	36.7	23.3	20.0	32.1	40.7	8.6
やや悪くなっている	20.0	23.3	33.3	10.7	14.8	4.1
悪くなっている	10.0	13.3	13.3	3.6	0.0	▲ 3.6

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



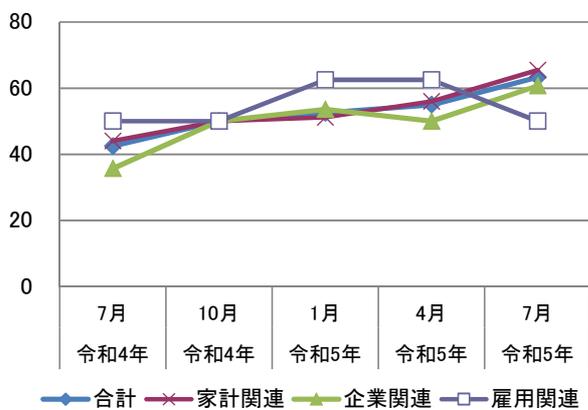
<県南地区>

①DI

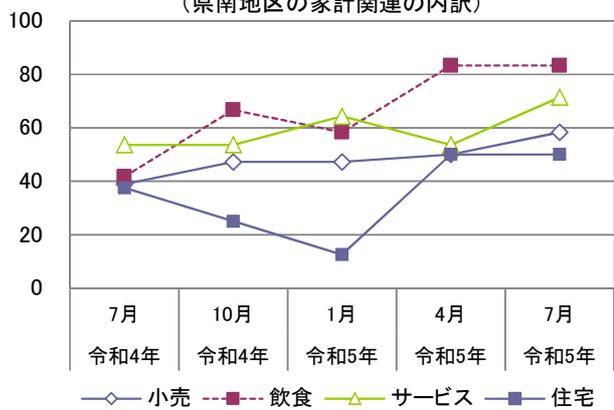
n = 30

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合計	42.5	50.0	52.5	55.0	63.3	8.3
家計関連	44.0	50.0	51.2	56.0	65.5	9.5
小売	38.9	47.2	47.2	50.0	58.3	8.3
飲食	41.7	66.7	58.3	83.3	83.3	0.0
サービス	53.6	53.6	64.3	53.6	71.4	17.8
住宅	37.5	25.0	12.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	35.7	50.0	53.6	50.0	60.7	10.7
雇用関連	50.0	50.0	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



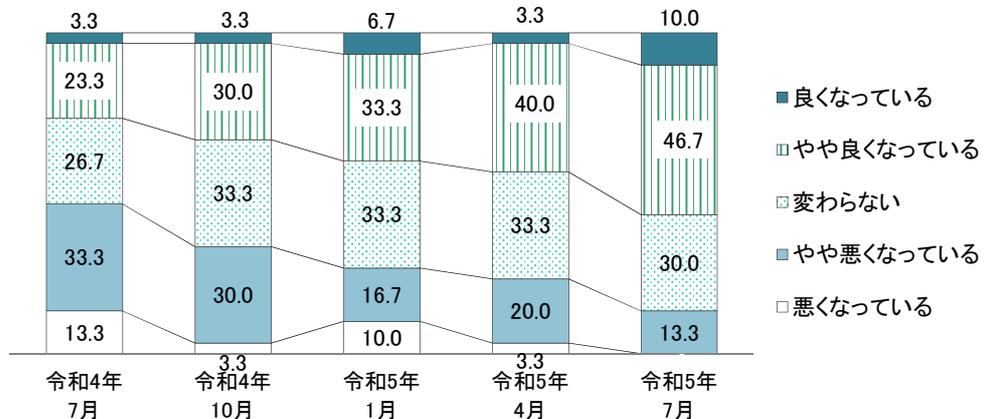
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	3.3	6.7	3.3	10.0	6.7
やや良くなっている	23.3	30.0	33.3	40.0	46.7	6.7
変わらない	26.7	33.3	33.3	33.3	30.0	▲ 3.3
やや悪くなっている	33.3	30.0	16.7	20.0	13.3	▲ 6.7
悪くなっている	13.3	3.3	10.0	3.3	0.0	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)

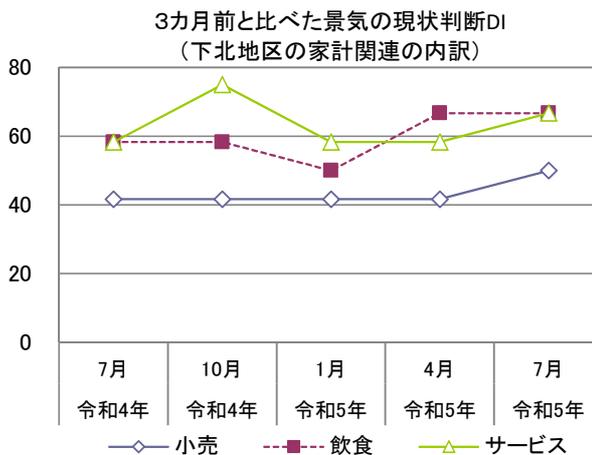
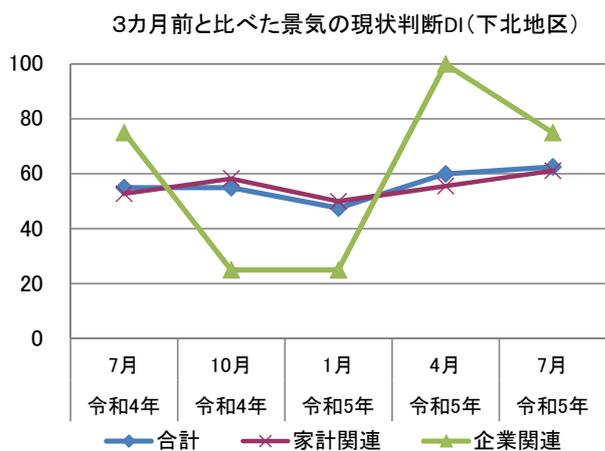


<下北地区> (参考)

①DI

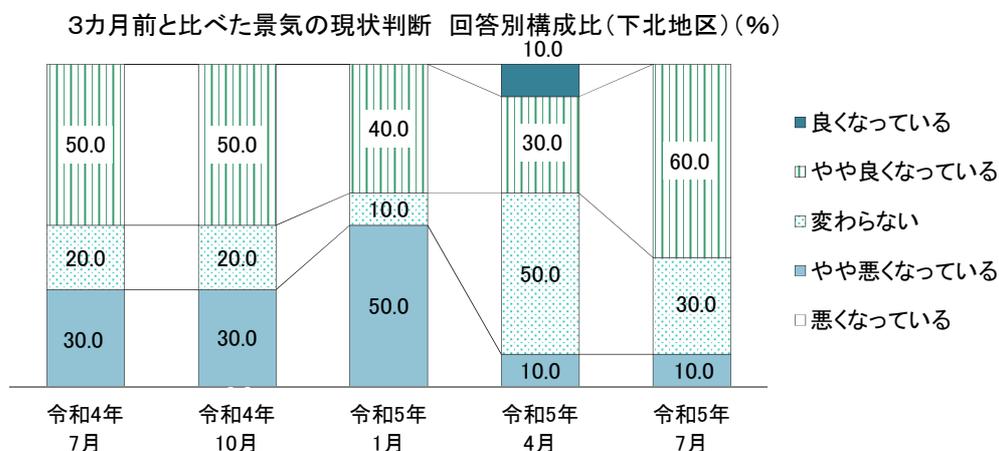
n = 10

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合計	55.0	55.0	47.5	60.0	62.5	2.5
家計関連	52.8	58.3	50.0	55.6	61.1	5.5
小売	41.7	41.7	41.7	41.7	50.0	8.3
飲食	58.3	58.3	50.0	66.7	66.7	0.0
サービス	58.3	75.0	58.3	58.3	66.7	8.4
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	25.0	25.0	100.0	75.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	▲ 10.0
やや良くなっている	50.0	50.0	40.0	30.0	60.0	▲ 30.0
変わらない	20.0	20.0	10.0	50.0	30.0	▲ 20.0
やや悪くなっている	30.0	30.0	50.0	10.0	10.0	0.0
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

n = 97

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
合計	63.1	61.1	▲ 2.0
東青	66.7	64.2	▲ 2.5
津軽	59.3	59.3	0.0
県南	63.3	60.8	▲ 2.5
下北	62.5	57.5	▲ 5.0

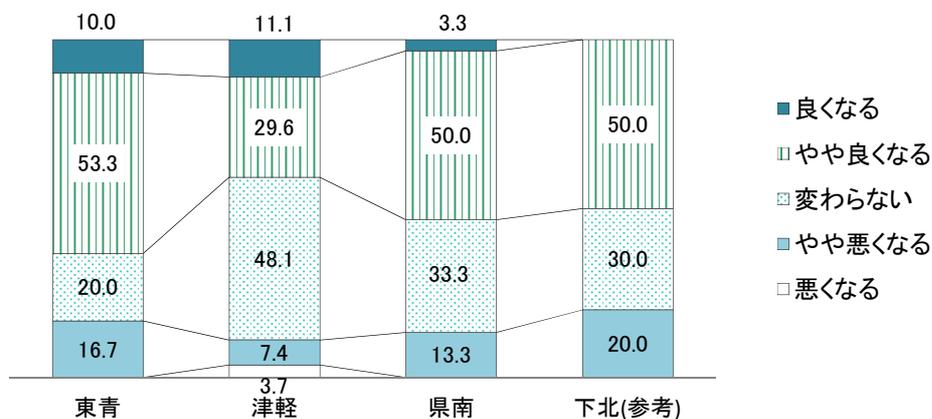
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなる	10.0	11.1	3.3	0.0
やや良くなる	53.3	29.6	50.0	50.0
変わらない	20.0	48.1	33.3	30.0
やや悪くなる	16.7	7.4	13.3	20.0
悪くなる	0.0	3.7	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	令和5年 10月	前期調査 との差
合 計	54.2	52.6	45.8	66.4	64.2	▲ 2.2
家計関連	59.8	53.4	48.9	68.2	67.4	▲ 0.8
小売	69.4	63.9	63.9	75.0	72.2	▲ 2.8
飲食	66.7	75.0	50.0	75.0	75.0	0.0
サービス	52.8	41.7	38.9	61.1	66.7	5.6
住宅	37.5	37.5	25.0	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	37.5	56.3	25.0	62.5	56.3	▲ 6.2
雇用関連	33.3	41.7	50.0	58.3	50.0	▲ 8.3

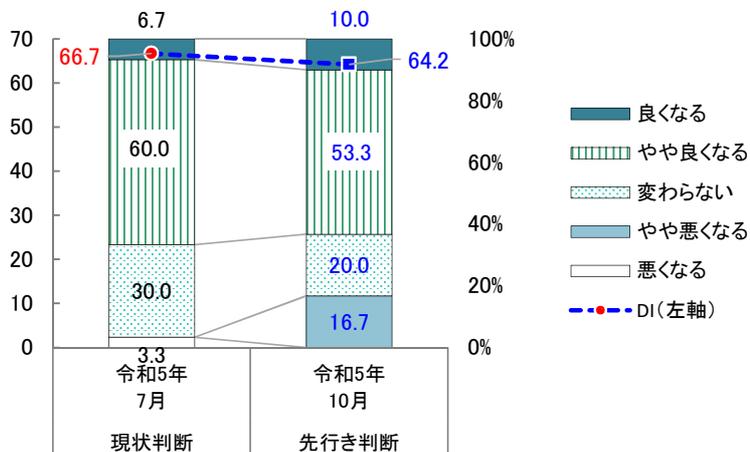
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
合 計	66.7	64.2	▲ 2.5
家計関連	68.5	67.4	▲ 1.1
小売	72.2	72.2	0.0
飲食	66.7	75.0	8.3
サービス	75.0	66.7	▲ 8.3
住宅	25.0	37.5	12.5
企業関連	62.5	56.3	▲ 6.2
雇用関連	58.3	50.0	▲ 8.3

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
良くなる	6.7	10.0	3.3
やや良くなる	60.0	53.3	▲ 6.7
変わらない	30.0	20.0	▲ 10.0
やや悪くなる	0.0	16.7	16.7
悪くなる	3.3	0.0	▲ 3.3

現状判断と先行き判断との比較(東青・合計)



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 27

	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	令和5年 10月	前期調査 との差
合 計	45.8	51.7	51.7	64.3	59.3	▲ 5.0
家計関連	50.0	56.8	55.7	68.8	62.5	▲ 6.3
小売	41.7	44.4	50.0	65.6	53.1	▲ 12.5
飲食	66.7	83.3	58.3	66.7	75.0	8.3
サービス	56.3	59.4	62.5	75.0	71.4	▲ 3.6
住宅	37.5	62.5	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	29.2	29.2	37.5	45.8	45.0	▲ 0.8
雇用関連	50.0	62.5	50.0	75.0	62.5	▲ 12.5

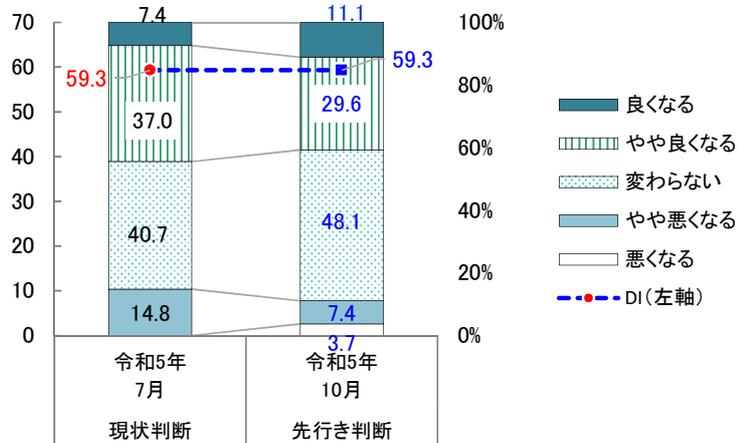
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
合 計	59.3	59.3	0.0
家計関連	63.8	62.5	▲ 1.3
小売	53.1	53.1	0.0
飲食	66.7	75.0	8.3
サービス	71.4	71.4	0.0
住宅	75.0	50.0	▲ 25.0
企業関連	45.0	45.0	0.0
雇用関連	50.0	62.5	12.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
良くなる	7.4	11.1	3.7
やや良くなる	37.0	29.6	▲ 7.4
変わらない	40.7	48.1	7.4
やや悪くなる	14.8	7.4	▲ 7.4
悪くなる	0.0	3.7	3.7

現状判断と先行き判断との
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

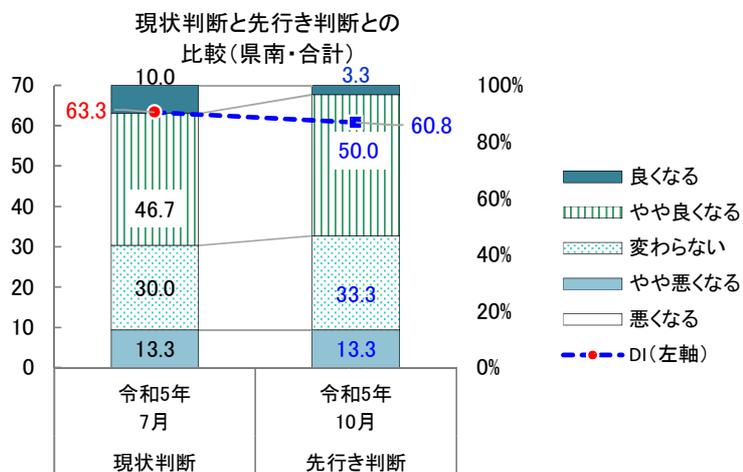
	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	令和5年 10月	前期調査 との差
合 計	40.0	45.8	53.3	59.2	60.8	1.6
家計関連	39.3	45.2	54.8	63.1	64.3	1.2
小売	41.7	41.7	50.0	52.8	63.9	11.1
飲食	33.3	58.3	50.0	91.7	66.7	▲ 25.0
サービス	46.4	53.6	64.3	64.3	67.9	3.6
住宅	12.5	12.5	50.0	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	39.3	42.9	46.4	46.4	50.0	3.6
雇用関連	50.0	62.5	62.5	62.5	62.5	0.0

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
合 計	63.3	60.8	▲ 2.5
家計関連	65.5	64.3	▲ 1.2
小売	58.3	63.9	5.6
飲食	83.3	66.7	▲ 16.6
サービス	71.4	67.9	▲ 3.5
住宅	50.0	50.0	0.0
企業関連	60.7	50.0	▲ 10.7
雇用関連	50.0	62.5	12.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
良くなる	10.0	3.3	▲ 6.7
やや良くなる	46.7	50.0	3.3
変わらない	30.0	33.3	3.3
やや悪くなる	13.3	13.3	0.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	令和5年 10月	前期調査 との差
合計	50.0	40.0	47.5	55.0	57.5	2.5
家計関連	47.2	41.7	50.0	50.0	55.6	5.6
小売	25.0	8.3	41.7	41.7	33.3	▲ 8.4
飲食	58.3	66.7	50.0	58.3	66.7	8.4
サービス	58.3	50.0	58.3	50.0	66.7	16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	25.0	25.0	100.0	75.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

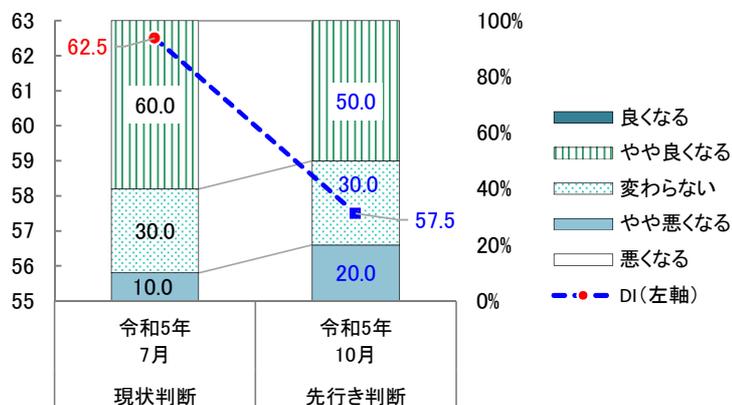
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
合計	62.5	57.5	▲ 5.0
家計関連	61.1	55.6	▲ 5.5
小売	50.0	33.3	▲ 16.7
飲食	66.7	66.7	0.0
サービス	66.7	66.7	0.0
住宅	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和5年 7月	先行き判断 令和5年 10月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	60.0	50.0	▲ 10.0
変わらない	30.0	30.0	0.0
やや悪くなる	10.0	20.0	10.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0

現状判断と先行き判断との
比較(下北・合計)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている		東青	観光名所等	来客数が増加し、オープン以来の入場者数となっている。
			観光型ホテル・旅館	全国旅行支援の追い風は現在も続いており、個人客は引き続き好調。修学旅行や一般団体も増え始めてきたが、満室の日が多くなり受け入れに苦労する程までなっている。GW明け以降の通常期でも繁忙を感じるくらいになっている。
		津軽	観光型ホテル・旅館	インバウンドや、会合が増えている。
			設計事務所	民間及び官公庁からの発注業務がコロナ前より多いと感じています。業務量増に伴い弊社も技術者の増員強化を今春実施しました。
		県南	レストラン	企業での大人数の宴会が増えた。旅行や出張客のお客が増えた。
			旅行代理店	国内・海外共に問い合わせ、手配が増えている。もう、旅行に行ってもいいのかなという気持ちになってきている。
やや良くなっている	家計	東青	一般小売店	売り上げの前年対比はもちろん、コロナ前2019年との比較でも数字が大きく伸びているから。
			卸売業	観光客も多くなり、宿泊、飲食業もだいぶ戻ってきている。コンビニエンス関係も売上げを戻してきているので良くなってきていると思う。
			百貨店・スーパー	人流の回復があるから。
				コロナ対応が緩和されたことでGWから、人の動きが前年より明らかに増えたため。必要以上の買い物はしないものの、必要なものは購入する傾向は続いています。
			コンビニ	天気もよくなり観光客も少し増えてきているため。
			衣料専門店	コロナ禍明け、各種式典、会合が解禁になり衣料品販売は問い合わせ急増です。
			タクシー	コロナ禍の悪影響は徐々に取り除かれ人々の動きも活発化してきてはいる、しかし物価高と円安はどうしても避けて通れずに足を引っ張られている状況。また、報道関係がコロナ感染の第9波を煽り立てる面も景気回復の足かせとなっている様に思われます。
			一般飲食店	コロナが5類に移行したことにより、徐々に人の動きがはじめてはいますが、まだまだ警戒感を持つ人も多く、行事がある時などに合わせて人も動くようで、普段は人の動きは以前のようなではありません。
			都市型ホテル	宿泊については、堅調なビジネス需要、全国旅行支援による観光需要喚起の施策により22年を上回る売上で推移。飲食については回復傾向にあるが、見込んでいた水位までの回復とはならず。そのため、良くなっているではなく、やや良くなっていると回答しました。
			美容院	コロナも多少なれてきたのか、お客様も気をつけながら行動しているようです。
			家電量販店	新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが引き下げとなったことなどもあり、節約志向は依然として続いてはいるものの、「イベント」や「旅行・観光」等に係る需要は伸長している傾向が見受けられます。
			レストラン	いろいろな行事があるので。
旅行代理店	仕事の量が増えてきた。			

現状	分野	地区	業種	理由	
やや良くなっている	家計	津軽	観光名所等	お出かけキャンペーンの効果。コロナ規制緩和。	
			ガソリンスタンド	ガソリン等の販売価格は上昇してきているものの、観光客の来県状況や飲食店への客の入れ込みは増加しており、全体としては景気は上向いてきていると感じる。8月の「ねぶた」「ねぶた」祭りやお盆も控えており、当市への県外客の流入も予想され、当社売り上げも伸びると予想している。	
			商店街	まだ完全に回復しているわけではないが、旅行客も増加、学生、社会人の飲み会も開催されるようになり多少は経済がまわるようにはなってきた。	
			旅行代理店	仕事の量が増えた。	
			レストラン	観光や日常の宴会等の利用のお客様が増加しているため。	
			娯楽業	街に人が出るようになっている。	
			コンビニ	売上は上がっているが利益は50%下落している、光熱費が高すぎる。	
			衣料専門店	売上げが上がっている。	
		県南	百貨店・スーパー	インフレ傾向により見かけ売上は右肩上がり。外食産業も客数も増加傾向とは思いますが、コスト上昇は引き続いて深刻な課題。	
			ガソリンスタンド	コロナ感染症の5類移行により、人々の往来が増加傾向であることが感じられることから上向き傾向であると思われます。	
			観光名所等	客入数、売上ともに若干伸びつつあるため。	
			スナック	団体客が増えてきた。	
			タクシー	6/15にタクシー料金の運賃改定が青森県内でも行われたが、もちろんその効果も出ているとは思いますが、確実に人の出（外出、観光、飲食、イベントなど）は増えてきているような感じが見受けられる。	
			一般飲食店	直接関係は薄いですが、町中に人があふれているようです。結果各店への来店頻度が高まるようです。売り上げアップにつながる。	
			卸売業	昨年まで中止となっていたお祭りが開催される事になった。飲み会用の道具の予約が多く入っている。	
			コンビニ	土日祝に人流を感じる。	
		下北	レストラン	コロナが落ち着いたから。	
			タクシー	コロナが5類になり、気持ちが楽になったのか、旅行・遠出が増え夜の飲食業も活気が出てきている。	
			都市型ホテル	宿泊客数はコロナ禍前以上の状態です。ただ、飲食を伴う宴会はまだ7割位の回復なので今後に期待です。	
			スナック	コロナで個人のお客様だけだったのが、会社での飲み会に変わり人数が増えました。	
		企業	東青	経営コンサルタント	スーパー関連は客数が伸び悩み、単価の高い商品から安価な商品へと流れ食料品や日用品の節約傾向がみられるが、原材料費の高騰が一服するなか、不十分だが過去のコスト高を販売価額に転嫁する動きが続いている。コト消費の代表である旅行関連では、新型コロナウイルスの影響が緩和し、円安の影響もありインバウンドの増加により、宿泊業や飲食業は前に比べ少し上向きになっている。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	企業	津軽	経営コンサルタント	休日の大型商業施設は駐車場もいっぱい出人出も多くなっている。一方平日の人はまいちで、小規模の商店での売り上げは昨年と同様という声が聞かれる。各種宴会やイベントは回数や集客数は回復傾向にあるが、人手不足の影響で何とか人手をかけないように工夫をしているのが分かる。
			紙・パルプ製造	飲食店等の利用が増えている、また新幹線等の利用が増え人の往来が活発になっている。
		県南	飲料品製造	大人数の集まりでの飲食がコロナ禍以前と同様に開催されるようになり、また夜の町への人も増加している。観光客なども確実に増加している。商品の値上げの影響も多少なりともあると思うがあまりダイレクトには感じられない。
			経営コンサルタント	インバウンド需要、コロナ収束により、飲食、宿泊業等、サービス業の売上回復が頭著。
	雇用		新聞社求人広告	イベントやお祭りが再開していることから、人の動きがあるため。
変わらない	家計	東青	設計事務所	取り巻く環境で景気に及ぼす事象が無く変化の実感無い。周辺に足場がかかり外部修理している小規模建物はここかしこに見かけられた。冬季に受けたダメージが多いのかもしれない。関わる職種は多忙のようです。
			娯楽業	4月はお客様の戻りが見られましたが、5月、6月と落込み不安定です。
				3カ月の売上の変動が特に変わらないため。
			商店街	光熱費の高騰・物価高によりお客様のマインドが慎重になっているように感じ、またコロナが明けたかのような勢いも感じ、判断が難しい所だから。
			スナック	変わらないという事は全く見当が付きませんので、多少なりと期待しておりますが、無理でしょうね。
		津軽	スナック	物価高騰の影響。
			乗用車販売	業種により異なる。
			都市型ホテル	同様に活発である。
			住宅建設販売	お客様の動向(イベント・展示場来場)はあるが、融資(融資額)が通らないので、建築を控える結果となる。
		県南	乗用車販売	原油・原材料の高騰の影響で、7月に入り食料品等の値上げが再度行われ、消費者の購買意欲が低下する。
			住宅建設販売	物価高騰手当等が一時的に支給された話を聞いたが、物価高騰が継続しているため。
			一般小売店	コロナが終息しつつある事は上向き要因であるが、物価高騰がそれを全て打ち消している。
		下北	一般飲食店	ようやくコロナも下火になってきてこれからという時に、今度はいろいろな物の値上がりで財布の紐がなかなか緩くならないせいで結構きついです。
			ガソリンスタンド	コロナ感染が落ち着き、観光客が増えてきている実感はあるが、物価が上がっているせいか、地元の人々の動きが鈍いような気がする。
			コンビニ	ずっと悪いまま。倒産した企業もある。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	東青	食料品製造	コロナ解除後で会食の機会は増えているようですが、水産を取り巻く状況はよくありません。受け入れる側は 加工済みのものを要求しますが追加加工の費用の負担は無理ときます。つらいです。
		津軽	食料品製造	物価の値上がりが見止まらない。買い控えをしている。
		県南	広告・デザイン	フロンは、治った感があるがコロナ融資を受けた企業の返済が始まっている中、返済の方に比重がおかれ、広告費等必ずしも必要ではない経費を削減しているようだ。
			建設	コロナは落ち着いて通常の生活に戻りつつあるが、食料品や日用品、外食の値上がりが続いており、決して良くなったとは言い切れない。
			電気機械製造	日本国内の景気はコロナも終わりまあまあですが、中国や欧州に輸出する取引の仕事の人は景気が悪いです。
	雇用	東青	新聞社求人広告	相次ぐ値上げ、燃料価格の高止まりで、消費を抑える傾向が続いていると感じる。
			求人情報誌	自分の周辺で賃金が多少上がった話を聞かすが、それ以上に物価が上がっている。消費者物価指数の上昇を止めない限りはこの先の景気への期待は薄いと感じる。
		津軽	新聞社求人広告	暑くなって飲食店関係が盛り返しているが、消費者の儉約志向は変わらず、好調かどうかは業種によってバラつきがある。
人材派遣	現在も相変わらず物価上昇が続いている。一方で給料や年金等収入は増えていないし、今のところ増える見込みもない。			
やや悪くなっている	家計	津軽	家電量販店	夏物季節商品(主にエアコン)の販売が前年減である。
			一般小売店	支店を閉鎖したため、本店の売り上げは増加しているが、増加分は支店のお客様のお買い上げ分であり、元々の本店のお客様分の売り上げは厳しい。諸物価の高騰が、買い控えに繋がっている。
		県南	美容院	毎日の生活に直結する部分で、物価高が少しずつ気になり出している様です。覚悟はしている様です。
			衣料専門店	電気料金値上げを始めとする生活コストの増。
	企業	津軽	家電量販店	食品の値上げ、電気代の値上げ報道が消費意欲を低下しているように感じます。
			電気機械製造	物価の上昇に加え、受注状況にも偏りがあり、全体的に良いとは言えないため。
		雇用	県南	人材派遣

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる		東青	一般小売店	祭りや帰省、地域行事がコロナ前と同様の規模で再開されるから。
			観光名所等	ねぶた祭の通常開催、お盆休みを利用した観光客の増加。
			都市型ホテル	秋には青森空港の国際線定期便再開も視野に入っており、宿泊としては順調と見込んでおります。飲食については、青森県は日常レベルでの脱コロナへの動きが他県に比べ遅いと感じておりますので、この夏でそこが加速すれば、飲食も回復してくるのでは、と思っております。
		津軽	商店街	夏の祭り、その他イベントも増えるので景気が良くなると思います。
		県南	旅行代理店	これから夏休みやお盆の帰省で動きが出てくる。今まで先のばしにしていた旅行を実現させようと動き出している。
やや良くなる	家計	東青	コンビニ	お祭りやイベント等が増えて人が増えてきている。
			商店街	さすがにコロナ対応も落ち着きを見せているようで 街の動きもより活発になっていくと期待しています。
			一般飲食店	コロナから遠く離れていくごとに、いろんなことが緩和していくのだと思います。色々忘れてそれが日常になっていくのだと思います。
			旅行代理店	お客様の動きが活発になってきた。
			娯楽業	7月に入って、まだ日が浅いですが、少し集客が戻っているように思います。
			衣料専門店	結婚式、入学式、子供たちの話題、各地で開催されているお祭りの盛況さ等、ご来店のお客様の笑顔からも将来の好景気は予想されます。又、観光客の流入増から有名店には行列が絶えません、来街者が増え商店街もニンマリです。
			レストラン	「ねぶた」などで、県外から訪れる人が多くなるので。
			美容院	やはり外へ出る事が多くなった事だと思います。
			百貨店・スーパー	各地区のイベントや夏祭り開催、お盆での帰省客、観光客増が期待できる。それによって、消費動向に良い影響を与えそうのため。
			タクシー	銀行系や各種団体の総会後の懇親会が徐々にではあるけれど復活してきているけれども、日付をまたいでまでの人流は残念ながらほぼ期待できないという状況が依然として続いています。もしかしたらこの流れはこのまま恒久的定番になってしまうかもしれません。
		スナック	来月はねぶた祭り、秋は観光シーズン、私達飲食業は如何なものか厳しいと思います。	
		津軽	レストラン	物価や光熱費の大幅な値上げがない限り、現状のまま推移すると思われるため。
			娯楽業	コロナ禍での生活様式が固まりつつあり、少しずつ外出を恐れなくなってくると思うから。
			ガソリンスタンド	ガソリン等の販売価格は上昇してきているものの、観光客の来県状況や飲食店への客の入れ込みは増加しており、全体としては景気は上向いてきていると感じる。8月のねぶた祭りやお盆も控えており、当市への県外客の流入も予想され、当社売り上げも伸びると予想している。
			家電量販店	省エネ家電への買替支援の実施による需要アップに期待。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	県南	タクシー	これから、夏休み、お盆、各地で久方ぶりのお祭り開催、帰省など、人の動きが更に加速する時期だと考えられ、それにともない様々な消費も拡大されるのではないかと期待したい。
			卸売業	現時点で経済活動が活発になっているためその動きが継続されると予想している。
			スナック	なんとなく。
			百貨店・スーパー	企業の売上は上昇はする。ただし、消費者の負担は給与増でカバーできないほど大きいと思われる。
			家電量販店	天候によっては家電製品の売り上げアップを期待します。
			ガソリンスタンド	夏祭り等のイベントが制約なしの状態で開催される予定であり、人流が増加することにより景気に明るさを感じられる状況になると思われる。
			乗用車販売	自動車生産に関しては、国内向け生産調整が引続き取られており、自動車の需要供給のバランスが保たれて来ている。
			一般飲食店	各地区で、大きいイベントがあるのでそれに伴い人の動きが活発になる。それが大きい要因になると考えられる。まず天気次第かな。
			商店街	一部の業種では売上等が回復しつつあるので、それも今後は波及しそうだから。
			コンビニ	祭り、イベント等の復活。
	下北	ガソリンスタンド	夏祭りも例年通りに行われるようだし、今年は帰省するという友人も増えてきたので、賑やかな夏になるのではと期待している。	
		一般飲食店	人の出足が多少ですが増えてきたように思います。	
		タクシー	冬が来る前までは人の往来は減らないと思うので。	
	企業	東青	食料品製造	祭りを目前にし 観光客や帰省客が増えるのではないのでしょうか。
		津軽	経営コンサルタント	企業の昇給時期でもあるが、全体的に昇給幅はそれほど高くない印象を受ける。しかし従業員の給与を上げなければならぬと切実に考えている経営者が例年より多いように感じる。日常の食料品や外食の価格の上昇で、確実に物価上昇を感じるが、原材料費が高騰している中で売値に転嫁していつているからであり利益を確保しなければ従業員の給与も上げられない。利益を給与に転嫁していくサイクルがうまく回って欲しいという願いも込めて、やや良くなることを祈る。
経営コンサルタント			これから各地の祭りのシーズンで、今年は通常で開催が見込まれている。地元も当然ながら各地から観光での動きが予測される。	
県南		経営コンサルタント	コロナウイルスの拡大がなければ、人流が増々多くなり、飲食宿泊等のサービス業の売上も増大し、当地区においては主力産業である水産加工業がイワシの水揚げ増大により、生産額の増大が期待できるため。	
		下北	食料品製造	お客様の人数が増えだした事から今より良くなるのかなと思います。
雇用		津軽	新聞社求人広告	各地の夏祭り、続く旧盆、秋の行楽などで人や物の動きが活発になるから。
		県南	新聞社求人広告	傾向は変わらず継続すると考えているため。
変わらない	家計	東青	卸売業	コロナ対策をしっかりとっている場所等は大丈夫かと思うが人流の多い所の対策が課題かと思っています。
			設計事務所	消費物価変動が景況の見通しに左右されますが急変は望めそうもない。目先のガソリン価格、円高など動きを見守りたい。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	家電量販店	ガソリン代の高止まりないし値上げ（10月には国の補助もなしとなる）、電気料金の値上げなどが続くことで、節約に対する意識は一層まですることと予測されます。直近ではコロナ第9波に関する報道もされており、再び外出等に規制がかかる可能性も0とは言えません。ただ、現地店では、いままでコロナ下でできなかったあるいは我慢していた旅行や観光へ支出を充てる世帯が増加していることもあるため、コロナや値上げの状況にもよるかと思えますが、概ね変化はないと思われま
			ガソリンスタンド	物価高と企業の人手不足はしばらく続くだろうし、中小零細企業の労働者の賃金は上がりそうもないので、景気が上昇するとは思えない。
		津軽	設計事務所	秋過ぎからは次年度に建設する予定の設計物件の着手となります。秋以降の業務物件も見えているので忙しさは不変なのかなと感じています。
			観光名所等	ねぶた祭りや旧盆。
			乗用車販売	業種により異なり全体の景気観は変わらない。
			住宅建設販売	新築は控える傾向かも知れませんが、改修リフォームは、堅強かと思えます。
			都市型ホテル	予約の反応がそれほど手ごたえを感じないため。
		衣料専門店	新たな、販売給付金などはないから。	
		県南	レストラン	コロナで予約をキャンセルや延期するお客様も増えてきました。8月帰省客も増えるので、多少不安です。
			観光名所等	今の状態が続くと思われる。
	美容院		最低賃金や賞与など少しずつ良くなっても物価に吸収されてあまりゆとりにはつながらない様な気がします。	
	住宅建設販売		物価高騰やインボイスによる増税で全体的に消費活動が鈍ると思う。	
	下北	都市型ホテル	だいぶ回復したとはいえ、このまま順調に推移するのかどうか・・・今後夏祭り等による帰省があるので良くなる方向に行けばと思います。	
		レストラン	会社は変わらないかと。	
		コンビニ	いい話題がない。	
	企業	津軽	電気機械製造	大きな受注の変化がないため。
			食料品製造	税収が増えて喜んでいるのは税務署？
		県南	建設	今後も値上げラッシュが待ち構えており、家計に与えるダメージは予想以上に大きい。特に電気代の値上がりは年金受給者や低所得層には厳しい。
			紙・パルプ製造	現在でも大分回復してきていることから、今後の大きな回復は見込めない。新型コロナウイルス感染症への警戒感もまだ多少あると思われる。
			電気機械製造	欧州の戦争や米中摩擦などの情勢に変化がないと景気回復は難しいと思います。
雇用	東青	新聞社求人広告	新型コロナウイルスの影響からは脱却しつつあると思うが、さまざまな商品の価格高騰が生活に影響している。	
やや悪くなる	家計	東青	観光型ホテル・旅館	旅行支援が7月で終了するので、ある程度の反動は覚悟しており、その影響を見込んでやや悪化との判断である。なお、ねぶた時期についてはコロナ禍以前の例年並みまで回復が見込まれる。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	東青	娯楽業	最低賃金は上昇していますが、会社員の給与としては、大きく上昇しておらず、光熱水費等を含めた物価の上昇が賃金の上昇幅より大きいため。
		津軽	一般小売店	一時落ち着いたものの、コロナの第9波の始まりのようであり、物価の高騰、ウクライナ戦争と悪材料はいくらでもある。また、昨年度までの各自治体からの支援策も今年度は無いうえに、コロナ融資の返済が始まり、厳しい経営を強いられると思う。
			百貨店・スーパー	物価上昇、レジャーなどにお金を使うが「モノ」の購入はひかえると考えられる。
		県南	衣料専門店	電気料金値上げを始めとする生活コストの増。
			一般小売店	日常生活に必需である電気、ガソリン、灯油、食品等はロシアウクライナ問題がある程度解決しなければ高止まりのままだと思う。
		下北	百貨店・スーパー	各種地域行事の復活実施等で徐々に活気が出てきているが、反面各種商品、物流、燃料、光熱費等の値上げが相次ぎ先行き不透明。
	企業	東青	経営コンサルタント	仕入価格の上昇は今後も続き、販売価額への転嫁が続いていくなか消費者行動への悪影響が出てくると考えられる。十分な賃上げは大企業に限られ、多くは収入の増加がインフレに追いつかない状況は続いていく。コロナ禍からの回復途上、人手不足の問題は解消されていない。
		県南	広告・デザイン	コロナ前に比べれば社会全体が活性化したように見えているがコロナ禍の期間で失った資金や借入れ等で苦しいのは、これからになるだろう。
	雇用	東青	求人情報誌	明確な理由があるわけではないが、他エリアの派遣会社との話で、製造業で人余りの傾向があると聞いた。この話を聞く限りでは、当面は製造業の復活が厳しいものになるのではないかと感じたので。

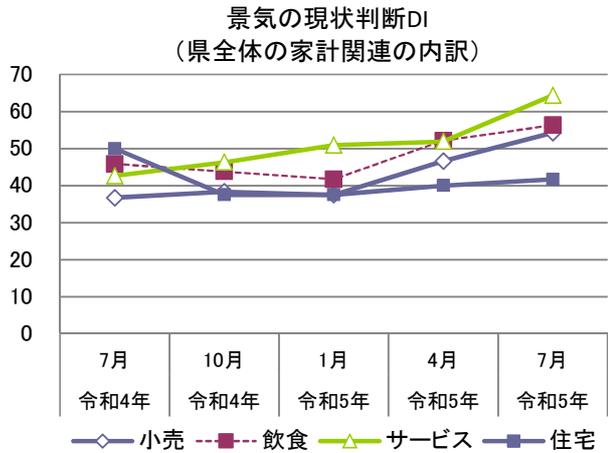
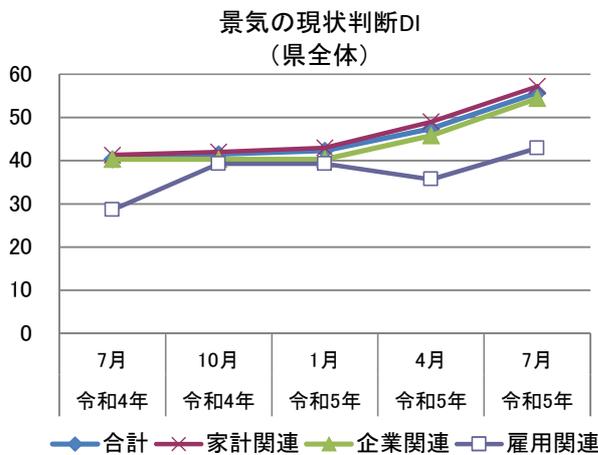
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

① D I

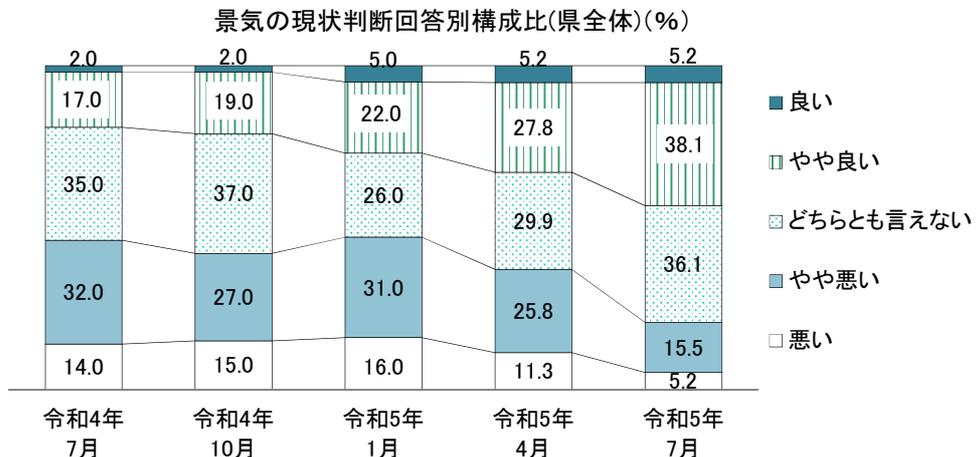
n = 97

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合計	40.3	41.5	42.3	47.4	55.7	8.3
家計関連	41.3	42.0	43.0	49.0	57.2	8.2
小売	36.7	38.3	37.5	46.6	54.3	7.7
飲食	45.8	43.8	41.7	52.1	56.3	4.2
サービス	42.6	46.3	50.9	51.9	64.4	12.5
住宅	50.0	37.5	37.5	40.0	41.7	1.7
企業関連	40.3	40.3	40.3	45.8	54.4	8.6
雇用関連	28.6	39.3	39.3	35.7	42.9	7.2



② 回答別構成比 (%)

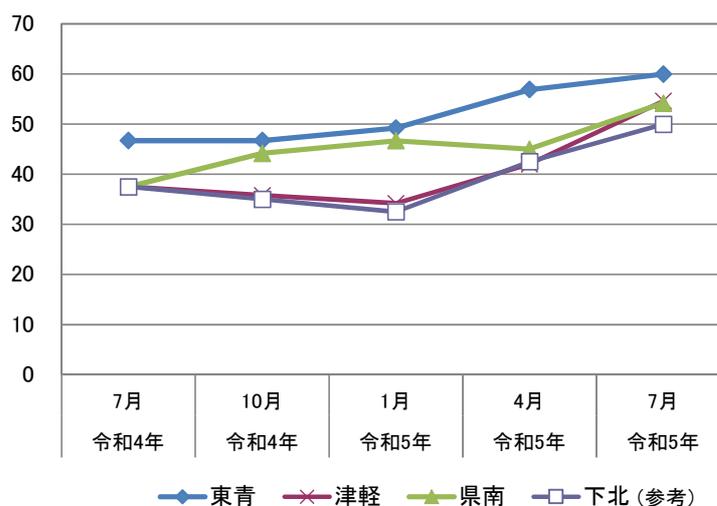
	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
良い	2.0	2.0	5.0	5.2	5.2	0.0
やや良い	17.0	19.0	22.0	27.8	38.1	10.3
どちらとも言えない	35.0	37.0	26.0	29.9	36.1	6.2
やや悪い	32.0	27.0	31.0	25.8	15.5	▲ 10.3
悪い	14.0	15.0	16.0	11.3	5.2	▲ 6.1



③地区別DI

	令和4年 7月	令和4年 10月	令和5年 1月	令和5年 4月	令和5年 7月	前期調査 との差
合 計	40.3	41.5	42.3	47.4	55.7	8.3
東青	46.7	46.7	49.2	56.9	60.0	3.1
津軽	37.5	35.8	34.2	42.0	54.6	12.6
県南	37.5	44.2	46.7	45.0	54.2	9.2
下北	37.5	35.0	32.5	42.5	50.0	7.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見	
家計	東青	衣料専門店	当市商店街に建設中であった商業複合施設が4月にオープン、タイミングは春の連休に開催した「AOMORI春フェスティバル」と重なり中心商店街区挙げての歓迎イベントになり大いに盛り上がった。施設は商業部分と80数世帯の住居スペース、先に同地域に完成のマンションと合わせ中街区の夜間人口増に繋がる。商店街に建設中のマンションも本年度完成し、来年度はホテルが完成と続き、駅舎は商業スペース、美術館、ホテルが併設される、街区活性化には夜間人口増が必須であり市中心街区の将来に期待で期待できる。	
		商店街	祭りやお盆に向けて知人からの来青森の話がコロナ前以上に増えてきています。街中にもねぶた前なのに、様々なお国柄の観光客が増えてきており今後もにぎやかになると思われる感じがしています。	
		卸売業	東北絆祭りでは多くの県産品の注文がありました。	
		一般飲食店	当市内で新しい商業施設ができるのを随分期待していましたが、さほど影響力も感じなく残念に思っています。	
		レストラン	県外や海外のお客が増えてますが、県内のお客様の動きがいまいち、行事がないと動きがない。	
		スナック	宮下知事に頑張ってもらいたいです!!	
		観光型ホテル・旅館	慢性的な人手不足は業界（県内？）全体の課題であり、稼働率低下等の機会損失に直結している。賃上げ等の自助努力は必須であるが、引き続き行政のサポートをお願いしたい。	
		観光名所等	海外からのお客もコロナ禍前に戻っている。	
		美容院	全体的に自分なりの気をつけ方を身につけてきたのかと思います。	
		娯楽業	買物や外食で、お客様の数と、購買力が、控えめなように感じます。	
	津軽	コンビニ	すべてにおいて上がっているため利益が上がらない。今後どうすれば良いか国政策にかかっている。	
		衣料専門店	結婚式が増えた。懇親会が増えた。	
		一般小売店	外人の観光客は増えている感じがするが、以前の中国人のような買い物をする光景は見えない。インバウンドも飲食止まりか。	
		商店街	税金が上がっているので以前よりも生活が苦しいと感じ、財布の紐は硬くなった。	
		都市型ホテル	8月は、宿泊の問い合わせが例年よりも多く感じます。	
		観光名所等	募集しているが予定とおりにならず。	
		ガソリンスタンド	当市においては、ホテルの倒産やスーパーの民事再生申請と大型の事例が発生している。この動きは今後も継続される懸念があり、当市経済への影響も懸念される。	
		設計事務所	全ての製品等が高騰している状況ですが建築は金額が大きいためクライアントの負担も2~3年前と比較すると気の毒になるくらいのUPです。建築に係る補助金等の充実をもっと図っていただければと感じます。	
		県南	コンビニ	観光バスがお客様を乗せて店に入りました。前は何年前か思い出せません。
			百貨店・スーパー	関東への旅行先で、たくさん外国人の方がいました。ほぼ外国人の方と言っても過言ではないくらいでした。びっくりしました。
衣料専門店	目に見えて観光客は日本人、外国人含めて増えている。夜の飲食店も平日も盛況。			
商店街	一般的に物価は上昇している中で、特に7月からの水道光熱費への関心が高いように感じる。			
一般飲食店	新しい知事になり、期待が膨らんでいる様子です。一方、長引くウクライナ情勢、円安等なんとか正常な方向にならないかな。庶民の力ではどうすることもできないのがジレンマです。			
スナック	会合が増えた。			

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	観光名所等	コロナが落ちついたためか、観光客が増えました。
		美容院	色んな情報によって世の中の動きが見えているので、対応と覚悟がしっかりしている様な気がします。
		ガソリンスタンド	人々の往来が増加し景気に明るさを感じられる反面、このことが企業収益に、どこまで影響を及ぼすのか、種々のコスト増加と相殺されて、依然企業経営は厳しい環境が続いていくことが予想される。
		住宅建設販売	外国人観光客が増えた気がする。
	下北	一般飲食店	特徴的とまではいきませんが、チラホラと近所にコインランドリーとか車の会社とかが出来らしく建設業が賑わっています。
		ガソリンスタンド	燃料油の政府の補助金が9月までに段階的に無くなってしまいますので、家計や会社経費の負担が気になるじ、石油業界も油離れが懸念される。
企業	東青	建設	知事も当市長も新しくなり「期待」が高まっていると感じる。もちろん「希望」や「期待」だけでは何も変わらないが、少なくとも県民が動けることは証明されたと思う。経済的に弱い本県では特に政治は大切。国政にも同じ動きが必要だと感じた。
		経営コンサルタント	国税収入が3年連続で過去最高となっているが、要因の一つに物価上昇による消費税収入が過去最高となっていることがあげられている。一方でコロナ禍が落ち着き、企業でコロナ関連融資により抑制されてきた倒産件数は、支援の終了や返済が本格的に始まり、原材料高を価格転嫁できなかつたり人手不足も重なり、コロナ禍からの業績回復が遅れた企業を中心に資金繰りが逼迫し、増加することが懸念される。
	津軽	建設	今年も自然災害が多く、日本全国を苦しめている。青森県もこれ以上被害が出ない事を祈る。スーパーが御産してしまうと日常生活に不便を感じる程に大変。コロナ禍での無利子融資の返済があるが、これからの時なのに返済の猶予はないのか県として何か手助けは出来ないのか。
	県南	電気機械製造	押し活には思い切ってお金を投入する人が増えた。しかし、大型アリーナなどが活用されず、他の県内アリーナもイベントは少なく人が集まらないので、需要を取りこぼしていると思う。
		建設	国内、国外とも旅行者が増えているが、いつもよりコストを抑える旅程を組んでいる人が多い感じがする。私自身もその一人で、旅行でいつもより経費を抑える部分、通常の投資をする部分をはっきり切り分ける傾向になってきた。
		広告・デザイン	コロナ融資の返済が始まるとともに光熱費の高騰、物価の上昇等厳しい経済状況で、今後国や県の助成を期待する。
	下北	食料品製造	イベントなど増えてきています。
	雇用	東青	新聞社求人広告

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺町村	30	23	4	3
津軽	弘前市とその周辺市町村	30	22	6	2
県南	八戸市とその周辺市町村	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺町村	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166

fax : 017-734-8038